

札幌医学技術福祉歯科専門学校

臨床検査技師科(MT)科 実務経験を有する教員の一覧

科目名	時間数	学年	実務経験
解剖学	40	1年	医師または歯科医師として臨床経験のある教員が臨床医学に即した解剖学を講義する。
形態・組織学実習	30	1年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし、形態組織学に関する基本的な知識を講義・実習する。
栄養と代謝	15	1年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、栄養および生化学に関する基本的な知識を講義する。
生化学	40	1年	大学病院検査部の管理医師として勤務していた臨床検査専門医が、生化学に関する基本的な知識を講義する。
臨床検査学基礎実習Ⅰ	30	1年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義と実習指導をする。
臨床検査学基礎実習Ⅱ	45	1年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義と実習指導をする。
情報科学	30	1年	システムエンジニアとしてIT業界で活躍していた教員が、その経験を生かして講義をする。
情報科学実習	30	1年	特種情報処理技術者(旧通商産業省認定)。☒ システムエンジニアとしてIT業界で活躍していた教員が、その経験を生かし、パソコンの操作、インターネット活用やWord、Excel、PowerPointを使用し、文書作成、表計算、プレゼンテーションの仕方の実習をおこなう。
臨床医学総論Ⅰ	15	1年	内科・外科・救急医療の臨床経験のある教員が、その経験に基づいて、重要な疾患に関する基本的知識を講義する。
臨床血液学Ⅰ	30	1年	臨床検査技師として臨床現場で活躍していた教員、認定血液検査技師の資格を持つ教員が、その経験を生かして講義をする。
臨床検査総論Ⅰ	30	1年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験をもちに、実際に実務に役立つ臨床検査総論の知識を講義する。
微生物学	30	1年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし微生物学の基本を講義する。
感染基礎実習	30	1年	臨床検査技師として臨床経験のある教員がその経験を生かし、臨床微生物学実習に関する基本的な知識を講義・実習する。
臨床生理学Ⅰ	30	1年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を生かし講義する。
検査管理総論Ⅰ	30	1年	臨床検査技師として管理・運営に、及び臨床検査技師専門学校での実務経験を生かして講義する。
検体採取実習	30	1年	臨床検査技師として臨床経験のある教員がその経験を生かし、検体採取に関する基本的な知識を講義・実習する。
病理学Ⅰ	30	2年	大学院で病理学に基づいた臨床研究を行い、基本的な病理標本の作成、染色も指導ができる医師が指導を行う。
病理学Ⅱ	30	2年	医師国家試験、大学院で病理学に基づいた臨床研究を行い、学位を取得した。基本的な病理標本の作成、染色も指導ができる。
薬理学	15	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が臨床検査技師に必要な薬理学の知識を講義する。
保健医療福祉概論	15	2年	社会福祉士として社会福祉施設に勤務経験のある教員が、その経験を生かし、人々の生活課題と社会保障制度がどのように関連しているかについて講義する。
臨床病態学	30	2年	臨床検査専門医が臨床経験を生かし臨床病態学について講義する。
症例分析Ⅰ	15	2年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を活かし講義する。
臨床血液学Ⅱ	30	2年	臨床検査技師として臨床現場で活躍していた教員、認定血液検査技師の資格を持つ教員が、その経験を生かして講義をする。
臨床血液学実習	45	2年	臨床検査技師として臨床現場で活躍した教員、認定血液検査技師を取得した教員が、その経験を生かして授業を担当する。
病理組織学	30	2年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を生かし病理組織細胞学の基本を講義する。
細胞検査学	15	2年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を生かし細胞検査学の基本を講義する。
病理組織細胞学実習Ⅱ	45	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし、病理組織細胞学に関する基本的な知識を講義・実習する。
臨床検査総論Ⅱ	30	2年	医動物(人体寄生虫、衛生動物)に関する試験検査、調査研究の経験のある教員、臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験をもちに、医動物学に関する基礎知識と実際に実務に役立つ臨床検査総論の知識を講義する。
一般検査学実習	30	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義と実習指導をする。
臨床化学Ⅰ	30	2年	臨床検査技師として授業内容に関わる臨床経験のある教員が担当する。
臨床化学Ⅱ	30	2年	臨床検査技師として授業内容に関わる臨床経験のある教員が担当する。
臨床化学実習	45	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義と実習指導をする。

科目名	時間数	学年	実務経験
臨床免疫学実習	45	2年	臨床検査技師として授業内容に関わる臨床経験のある教員が担当する。
遺伝子・染色体検査学	15	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし、遺伝子染色体検査学に関する基本的な知識を講義する。
遺伝子検査学実習	30	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし、遺伝子検査学実習に関する基本的な知識を講義・実習する。
輸血・移植検査学	30	2年	臨床検査技師として授業内容に関わる臨床経験のある教員が担当する。
輸血検査学実習	30	2年	臨床検査技師として授業内容に関わる臨床経験のある教員が担当する。
臨床微生物学	30	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、臨床検査技師業務に生かせる講義を行う。
臨床微生物学実習	45	2年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を生かし実習を行う。
臨床生理学Ⅱ	15	2年	臨床検査技師として15年の臨床経験のある教員が担当する。
臨床生理学Ⅲ	30	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし呼吸器系の検査、神経・筋機能検査、感覚機能検査とその評価の仕方を講義する。
画像検査学	30	2年	超音波検査士の資格を持つ臨床検査技師が、その臨床経験を生かし超音波の基礎の講義と心臓および腹部超音波での評価の仕方を講義する。長年、脳神経外科病院に勤務していた臨床検査技師がMRIの原理と画像の評価を講義する。
臨床生理学実習Ⅰ	30	2年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を生かし循環機能検査の実習を行う。
臨床生理学実習Ⅱ	45	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義と実習指導をする。
臨床生理学実習Ⅲ	45	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義と実習指導をする。
検査管理総論Ⅱ	30	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が担当する。
検査管理総論Ⅲ	15	2年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が臨床検査技師に必要な知識を講義する。
医用工学論	15	3年	システムエンジニアとしてIT業界で活躍していた教員が、その経験を生かして講義をする。
症例分析Ⅱ	15	3年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を活かし講義する。
臨床検査学演習	60	3年	臨床検査技師として臨床現場で活躍した教員が、その経験を生かして授業を担当する。
血液検査学	30	3年	臨床検査技師として臨床現場で活躍し、認定血液検査技師を取得した教員が、その経験を生かして授業を担当する。
病理検査学	30	3年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を生かし病理検査学の講義を行う。
分析検査学	30	3年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を生かして講義を行う。
生体防御検査学	30	3年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を生かし免疫検査学の講義を行う。
微生物検査学	30	3年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を生かし微生物検査学の講義を行う。
救急医療学	15	3年	看護師経験のある教員が、その経験を生かし救急医療に関する基本的知識を講義する。
生理機能検査学	40	3年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし生理機能検査学の講義を行う。
臨床検査管理特論	30	3年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を生かし講義を行う。
医療安全管理学	15	3年	病院感染管理業務を臨床で10年以上経験した教員がその経験を生かし医療安全とリスクマネジメント等について講義する。
臨床検査技術	30	3年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし指導をする。
臨地実習	495	3年	臨床検査技師として実務経験のある現場の臨床検査技師が指導を担当します。
合計	2280		

札幌医学技術福祉歯科専門学校

臨床工学技士科(CE)科 実務経験を有する教員の一覧

科目名	時間数	学年	実務経験
基礎数学	30	1年	精密機器メーカーの勤務経験がある教員が、その経験を生かして講義する。
インターネットの活用	30	1年	電機メーカーで電気機械・ソフトウェア設計などの勤務実績のある教員が、その経験を生かし医療に必要な情報工学の基礎知識を指導する。
人体の構造及び機能	30	1年	臨床工学技士として臨床現場での業務経験のある教員が、業務経験の中で必要と感じた内容について講義する。
基礎医学実習	30	1年	臨床検査技師、臨床工学技士として臨床経験のある教員がその経験を生かして担当する。
看護学概論	15	1年	看護師として臨床で勤務経験のある教員が経験を生かし講義する。
チーム医療概論	15	1年	臨床工学技士として臨床で患者接遇、管理経験のある教員が経験をもとに担当する。
臨床工学概論	15	1年	臨床工学技士として臨床現場での勤務経験がある教員が各テーマに沿って講義する。
電気工学	30	1年	精密機器メーカーの勤務経験がある教員が、その経験を生かし講義する。
電気工学実習	30	1年	精密機器メーカーの勤務経験がある教員が、その経験を生かして実習を行う。
電子工学実習	30	1年	精密機器メーカーでの勤務経験がある教員が、その経験を生かし実習を行う。
基礎工学演習	30	1年	精密機器メーカーでの勤務経験がある教員が、その経験を生かして講義する。
情報工学	30	1年	電機メーカーで電気機械・ソフトウェア設計などの勤務実績のある教員が、その経験を生かし医療に必要な情報工学の基礎知識を指導する。
基礎PC操作実習	30	1年	情報処理技術者として総合電機メーカーでの実務経験のある教員が、その経験を活かして表計算ソフトの操作に関連する講義をおこなう。
基礎プレゼンテーション	30	1年	情報処理技術者として経験のある教員が、その経験を活かしてスライド作成の講義をおこなう。また、教員はPTAの全国研究大会での提言者としてプレゼンテーションの経験があり、その経験を活かしてプレゼンテーション作成の指導をおこなう。
医用機器学実習	30	1年	臨床工学技士として臨床現場での勤務経験がある教員が各テーマに沿って講義する。
生体機能代行技術学実習 I	30	1年	臨床工学技士として臨床現場での勤務経験がある教員が各テーマに沿って講義する。
関連臨床医学演習 I	30	1年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
ソーシャルスキル II	30	2年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
人体の構造及び機能演習 I	30	2年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
臨床生化学概論	15	2年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を活かして担当する。
臨床検査学概論	15	2年	臨床検査技師として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
電気工学演習 I	30	2年	精密機器メーカーでの勤務経験がある教員が、その経験を生かして講義する。
電子工学演習 I	30	2年	精密機器メーカーでの勤務経験がある教員が、その経験を生かして講義する。
生体計測装置学実習	30	2年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
医用治療機器学	30	2年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
医用治療機器学演習 I	30	2年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
医用治療機器学実習	30	2年	臨床工学技士・現場の内視鏡技士として活躍しているCEに現場の現状も踏まえ教えてもらう。
臨床支援技術学概論 I	60	2年	臨床工学技士として現在臨床で勤務している非常勤講師、専任教員が、臨床の経験を活かして講義をする。
呼吸療法装置学	60	2年	臨床工学技士・呼吸療法認定士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
体外循環装置学	60	2年	臨床工学技士、体外循環認定士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし補助循環、体外循環を講義する。
血液浄化療法装置学	60	2年	臨床の臨床工学技士、透析技術認定士として臨床で活躍する非常勤講師、教員が、その経験を活かし透析に関する基本的な知識から、臨床的な知識を講義する。
生体機能代行技術学実習 II	60	2年	臨床工学技士、体外循環認定士、透析技術認定士として臨床現場での勤務経験がある教員が各テーマに沿って講義する。
生体機能代行技術学演習 I	30	2年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。

科目名	時間数	学年	実務経験
医療安全管理学実習	30	2年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
関連臨床医学	30	2年	現場の医師や臨床工学技士が、経験を活かして講義する。
関連臨床医学演習Ⅱ	60	2年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を活かして担当する。
人体の構造及び機能Ⅲ	30	3年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
基礎工学特論Ⅲ	60	3年	臨床工学技士として現場での勤務経験のある教員も授業にはいり講義する。
医用機器学特論	120	3年	臨床工学技士として臨床現場での勤務経験がある教員が各テーマに沿って講義する。
生体機能代行装置学実習Ⅲ	40	3年	臨床工学技士として臨床現場での勤務経験がある教員が各テーマに沿って講義する。
生体機能代行装置学特論Ⅱ	90	3年	臨床工学技士として臨床現場での勤務経験がある教員が各テーマに沿って講義する。
医用機器安全管理学特論	30	3年	臨床工学技士として臨床現場での勤務経験がある教員が各テーマに沿って講義する。
関係法規	15	3年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
医療安全学	15	3年	臨床工学技士免許を有し、臨床現場において医療機器安全管理責任者の立場で、医療安全管理委員会の一員として医療安全の推進に参画した経験のある教員が講義する。
関連臨床医学特論	60	3年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
卒業研究	120	3年	臨床工学技士として臨床経験ある教員が、その経験を生かして担当する。
臨床実習	180	3年	臨床工学技士として5年以上臨床経験のある実習指導者が担当する。
合計	1945		

札幌医学技術福祉歯科専門学校

歯科衛生士科(DH)科 実務経験を有する教員の一覧

科目名	時間数	学年	実務経験
人体の構造と機能の基礎概論	30	1年	歯科衛生士、臨床検査技師、作業療法士としての臨床経験をもとに人体の基本的な構造などを指導する。
情報処理	30	1年	情報処理技術者として経験のある教員が、その経験を活かして文書作成の講義をおこなう。
心理学	30	1年	公認心理師、臨床心理士の資格を持つ教員がカウンセリング経験を生かしてカウンセリングや臨床の実際を指導する。
解剖・組織発生学	30	1年	歯科医師免許をおよび歯学博士を有する教員が、その臨床経験を生かし解剖・組織発生学の基本を講義する。
生理学	15	1年	歯科医師として臨床経験のある教員が臨床に即した生理学を講義する。
栄養・生化学	30	1年	歯科医師免許を有する教員が、その臨床経験を生かし栄養・生化学の基本を講義する。
口腔解剖学	30	1年	歯科医師であり、臨床経験のある教員が歯科臨床に即した解剖学を講義する。
歯牙解剖学	30	1年	歯科医師免許を有する教員が、その臨床経験を生かし歯牙解剖学の基本を講義する。
歯型彫刻法	15	1年	歯科医師免許を有する教員が、その臨床経験を生かし歯型彫刻の基本を講義する。
口腔生理学	15	1年	歯科医師として臨床経験のある教員が臨床に即した講義を行う。
薬理学・歯科薬理学	30	1年	歯科医師免許および歯学博士を有する教員が、その臨床経験を生かし薬理学の基本を講義する。
保健生態学	60	1年	歯科医師として臨床予防歯科に従事している教員が、その臨床経験に基づき口腔衛生学の基本を講義する。
衛生学・公衆衛生学	30	1年	歯科医師として地域歯科保健活動に従事している教員が、その経験に基づき衛生学・公衆衛生学の基本を講義する。
歯科衛生学総論Ⅰ	30	1年	歯科衛生士としての臨床経験を生かして講義を行う。
臨床歯科総論	15	1年	歯科医師として臨床経験ある教員が、その経験を生かして歯科診療の概要を講義する。
歯科予防処置Ⅰ	90	1年	歯科衛生士としての臨床経験ある教員がその経験を活かし歯科予防処置の基本に関するの講義と実習を行う。
齶蝕予防処置Ⅰ	30	1年	歯科衛生士としての臨床経験ある教員がその経験を活かし齶蝕予防処置の基本に関するの講義と実習を行う。
歯科保健指導Ⅰ	90	1年	歯科衛生士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし歯科保健指導の基本を講義、実習をおこなう。
歯科診療補助Ⅰ	90	1年	歯科衛生士として一般臨床に長く携わった教員が、その経験を活かし歯科診療補助の基本を指導する。
臨床検査法Ⅰ	15	1年	臨床検査技師として臨床経験のある教員が臨床検査の基本を講義する。
看護・介護概論	30	1年	看護師として豊富な臨床経験を有する教員がその専門性を活かし講義・実習を行う。
社会歯科	15	2年	歯科医師免許を持つ臨床経験豊富な教員が歯科に関係する衛生行政の基本を講義する。
衛生統計	15	2年	歯科医師として臨床予防歯科に従事している教員が、その経験に基づき衛生統計の基本を講義する。
歯科衛生学総論Ⅱ	15	2年	歯科医師として臨床経験のある教員がその経験を生かし、歯科臨床での実践内容を基に講義を行う。☒ 歯科衛生士として臨床経験のある教員がその経験を生かし講義・演習を行う。
保存修復学	30	2年	長年にわたり、歯科医師として大学病院において患者の診療を行ってきた臨床経験と歯科医師への指導経験ならびに歯学部での学生教育・本学院で歯科衛生士教育に携わっている経験を基に講義を行う。
歯内療法学	30	2年	歯科医師として、臨床経験豊富な教員がその専門性を生かし歯内療法について指導する。
歯周治療学	30	2年	歯科医師(日本歯周病学会専門医・指導医)の資格を持つ臨床経験豊富な教員がその専門性を生かし指導する。
歯科補綴学	30	2年	歯科医としての臨床経験をもち、歯科補綴学について講義する。
口腔外科学	30	2年	歯科医師として、臨床経験豊富な教員がその専門性を生かし口腔外科について指導する。
歯科麻酔学	15	2年	歯科医師として大学病院歯科診療センター麻酔科での豊富な臨床経験をもちに講義する。
小児・障害者歯科学	45	2年	歯科医師および小児歯科専門医指導医として臨床経験がある教員が、その経験を生かし小児歯科学の基本や臨床を講義する。
歯科矯正学	30	2年	歯科医師として、矯正歯科治療の臨床経験のある教員が、その経験を生かし歯科矯正学を担当する。

科目名	時間数	学年	実務経験
高齢者歯科・摂食・嚥下機能学	45	2年	歯科医師として、豊富な臨床経験のもとに高齢者歯科に関する講義を行う。
口腔健康管理	30	2年	①歯科医師として高齢者に対する豊富な臨床経験のもとに講義を行う。☒ ②歯科口腔領域の画像診断を行ってきた臨床経験のある教員が臨床に即した歯科放射線学を講義する。
歯科予防処置Ⅱ	90	2年	歯科衛生士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし歯科予防処置の基礎から応用に関する講義と実習を行う。
歯科保健指導Ⅱ	60	2年	歯科衛生士として臨床経験のある教員がその経験を活かし講義を行う。
歯科診療補助Ⅱ	90	2年	歯科医師として、また、歯科衛生士として一般臨床に長く携わった教員が、その経験を生かし歯科診療補助の基本を指導する。
臨床検査法Ⅱ	15	2年	歯科衛生士として臨床経験を基に講義、実習を行う。 臨床検査技師として臨床経験のある教員が歯学部付属病院での勤務経験も踏まえ講義する。
臨床実習Ⅰ	360	2年	臨床実習施設で勤務する歯科医師・歯科衛生士が実際の現場で指導する。
実習指導Ⅰ	15	2年	歯科衛生士として一般臨床に長く携わった教員が、その経験を生かし歯科診療補助の基本を指導する。
歯科医療接遇	15	2年	歯科衛生士としての臨床経験により歯科臨床におけるコミュニケーション技法等の指導を行う。
歯科衛生学総論Ⅲ	15	3年	歯科衛生士として臨床経験のある教員がその経験を活かし講義を行う。
歯科予防処置Ⅲ	30	3年	歯科衛生士として臨床経験を持つ教員がその経験を生かし講義と実習を担当する。
齲蝕予防処置Ⅱ	15	3年	歯科医師、歯科衛生士としての臨床経験ある教員がその経験を生かし齲蝕予防処置に関する講義を行う。
歯科保健指導Ⅲ	60	3年	歯科衛生士としての臨床経験を持つ教員が、歯科保健指導の講義・実習をおこなう。
歯科診療補助Ⅲ	90	3年	歯科医師として、また、歯科衛生士として一般臨床に長く携わった教員が、その経験を生かし歯科診療補助の基本を指導する。
臨床実習Ⅱ	540	3年	臨床実習施設では勤務する歯科医師・歯科衛生士が実際の現場で指導する。
実習指導Ⅱ	15	3年	歯科衛生士として臨床経験のある教員が臨床実習前後の全体指導と個別指導を行う。
課題研究	60	3年	歯科衛生士としての臨床経験、学会発表、シンポジスト等の経験を生かし指導する。
歯科医学総論	60	3年	歯科医師および歯科衛生士として臨床経験豊富な教員が、その経験に基づき国試該科目全般について講義する。
合計	2655		

札幌医学技術福祉歯科専門学校

理学療法士科(IPT)科 実務経験を有する教員の一覧

科目名	時間数	学年	実務経験
リハビリテーション用語	15	1年	理学療法士として臨床経験を有する教員が講義する。
データのみかた	15	1年	理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
情報処理	30	1年	Microsoft社のOfficeを使用し、理学療法に関する業務経験のある教員が、その経験を生かして文書作成・表計算の講義をおこなう。
ソーシャルスキル I	45	1年	理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし理学療法士科の学生として必要なコミュニケーションスキルについて講義する。
身体運動機能学 I	30	1年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験をもとに講義する。
身体運動機能学 II	30	1年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験をもとに講義する。
身体運動機能学実習	45	1年	理学療法士として臨床経験がある教員が、触診の基本について授業を行う。
運動学 I	30	1年	理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
運動学 II	30	1年	理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義します。
人間発達	30	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし人間発達の基礎を講義・演習する。
運動器障害学 I	15	1年	理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
神経障害学 I	15	1年	理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし神経障害の重要事項について講義する。
内部障害学	30	1年	理学療法士として臨床業務を行っている講師が、その経験を生かして講義をおこなう。
発達障害学	15	1年	理学療法士として臨床業務にあたる講師が、その経験を生かし発達障害学の基本を講義する。
リスク管理と予防	30	1年	看護師あるいは理学療法士として臨床経験がある教員が対象者のリスク管理経験を生かし講義する。
リハビリテーション論	30	1年	理学療法士として臨床経験のある教員がその経験を生かしリハビリテーション医学の基本を講義する。
理学療法概論	30	1年	理学療法士として、臨床経験を有する教員がその経験をもとに講義する。
理学療法概論演習	45	1年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし講義する。
理学療法評価演習 I	60	1年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし理学療法評価の基本を講義および演習をおこなう。
理学療法評価演習 II	60	1年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし理学療法評価の基本を講義および演習をおこなう。
理学療法評価演習 III	60	1年	理学療法士として臨床経験のある教員が、理学療法評価のうち特に神経系の評価方法について講義および演習を行う。
神経理学療法評価	30	1年	理学療法士として臨床経験のある教員が、神経障害の評価方法について講義および演習を行う。
神経理学療法 I	30	1年	理学療法士として臨床経験のある教員が、脳血管疾患の病態やその理学療法について講義および演習を行う。
物理療法	30	1年	理学療法士として臨床業務を行っている講師が、その経験を生かし物理療法の講義を行う。
臨床実習 I	45	1年	理学療法士として臨床経験がある臨床実習指導者および教員が、その経験を生かし、病院の機能、病院での理学療法の概要とチーム医療について指導する。
臨床実習 II	45	1年	理学療法士として臨床経験がある臨床実習指導者および教員が、その経験を生かし、地域リハビリテーション、地域での理学療法の概要とチーム医療について指導する。
ソーシャルスキル II	45	2年	理学療法士として経験ある教員が、その経験を生かし理学療法士として就労するに向けて必要な表現方法について講義・演習する。
運動学演習	30	2年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし講義する。
神経障害学 II	30	2年	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
老年障害学 I	15	2年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かして講義する。
老年障害学 II	15	2年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かして講義する。
多職種連携	30	2年	理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし多職種連携の必要性を理解できるようファシリテートする。
理学療法評価演習 IV	60	2年	理学療法士として臨床経験のある教員が、理学療法評価のうち特に動作観察および分析の方法について講義および演習を行う。
理学療法評価演習 V	60	2年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験をもとに理学療法の臨床思考を講義・演習する。

科目名	時間数	学年	実務経験
臨床推論	30	2年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし実際の症例を用いて臨床推論を講義・演習する。
運動器理学療法評価	30	2年	理学療法士として運動器障害の研究業績および臨床経験がある教員が、その経験を生かし講義する。
内部障害理学療法評価	30	2年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かして講義する。
発達障害理学療法評価	15	2年	理学療法士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし発達障害の評価について講義する。
運動療法総論	60	2年	理学療法士として、臨床経験を有する教員がその経験をもとに講義する。
運動器理学療法Ⅰ	30	2年	理学療法士として運動器障害の研究業績および臨床経験がある教員が、その経験を生かし講義する。
運動器理学療法Ⅱ	30	2年	理学療法士として運動器障害の研究業績および臨床経験がある教員が、その経験を生かし講義する。
神経心理学Ⅱ	30	2年	理学療法士として臨床業務に従事している非常勤講師が講義および演習を行う。
内部障害理学療法Ⅰ	30	2年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かして講義する。
発達障害理学療法	30	2年	理学療法士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし発達障害理学療法の基本を講義する。
装具学	30	2年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験をもとに義肢および装具の基本を講義する。
日常生活活動学	15	2年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし日常生活動作(ADL)の概念および対象者に即した方法について講義する。
臨床実習Ⅲ	90	2年	理学療法士として臨床経験ある臨床実習指導者および教員が、その経験を生かし理学療法の検査・測定の流れを実践的に指導する。
臨床実習Ⅳ	180	2年	理学療法士として臨床経験ある臨床実習指導者および教員が、その経験を生かし理学療法評価の流れを実践的に指導する。
臨床実習Ⅴ	180	2年	理学療法士として臨床経験ある臨床実習指導者および教員が、その経験を生かし理学療法評価の流れと結果の解釈を実践的に指導する。
ソーシャルスキルⅢ	15	3年	臨床での新人指導経験のある理学療法士が、その経験を生かし講義する。
総合解剖生理Ⅰ	30	3年	理学療法士、言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験を生かして国家試験に望む学生に対し、講義を行う。
総合解剖生理Ⅱ	30	3年	理学療法士として臨床経験がある教員が、人体の構造と機能に関する講義を行う。
精神障害学	15	3年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし精神障害についての基本を講義する。
臨床心理学	15	3年	公認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士・社会福祉士として、保健・医療・教育・福祉領域での実務経験を有する教員が、その経験を生かしながら、臨床心理学の基本的な理論について講義を行う。
理学療法障害学演習Ⅰ	60	3年	理学療法士として臨床経験ある教員が、国家試験の出題頻度が多い内容を中心に講義する。
理学療法障害学演習Ⅱ	60	3年	理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし国家試験対策について講義する。
理学療法障害学演習Ⅲ	60	3年	医師、理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし国家試験対策について講義する。
理学療法障害学演習Ⅳ	30	3年	理学療法士として臨床経験ある教員が、既習の知識で国家試験に出題されやすいポイントを踏まえて講義する。
理学療法管理学	30	3年	理学療法士として医療機関で管理職経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
内部障害理学療法Ⅱ	30	3年	理学療法士として臨床経験のある教員が、その知識を生かして授業を行う。
義肢学	15	3年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験をもとに義肢および装具の基本を講義する。
理学療法特論Ⅰ	30	3年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし講義する。
理学療法特論Ⅱ	30	3年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし講義する。
理学療法特論Ⅲ	30	3年	看護師や理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし授業を行う。
地域リハビリテーション	30	3年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かして講義する。
地域理学療法	15	3年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かして講義する。
生活環境学	15	3年	理学療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし日常生活動作(ADL)の概念および対象者に即した方法について講義する。
臨床実習Ⅵ	360	3年	理学療法士として臨床経験ある臨床実習指導者および教員が、その経験を生かし理学療法評価の流れを実践的に指導する。
合計	2865		

札幌医学技術福祉歯科専門学校

作業療法士科(IOT)科 実務経験を有する教員の一覧

科目名	時間数	学年	実務経験
情報処理	30	1年	システムエンジニアとしてIT業界で活躍していた教員が、その経験を生かして実習を担当する。
心理学	30	1年	公認心理師および臨床心理士、精神保健福祉士・社会福祉士として、保健・医療・教育・福祉領域での実務経験を有する教員が、その経験を生かしながら、心理学の基本的な理論について講義を行う。
活動と分析	45	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が作業療法士の視点で運動や活動について講義する。
ソーシャルスキルⅢ	30	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が臨床で求められるコミュニケーション能力について講義する。
身体運動機能学Ⅰ	30	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
身体運動機能学Ⅱ	30	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
人間発達演習	45	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし人間発達の基礎を講義・演習する。
運動学Ⅰ	30	1年	理学療法士・作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
運動学Ⅱ	30	1年	理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義します。
内部障害学Ⅰ	30	1年	理学療法士・作業療法士として内部障害の治療に携わった経験があるものが、経験を踏まえて授業を行います。
神経障害学Ⅰ	30	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
発達障害学Ⅰ	15	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし発達障害学の基本を講義する。
精神障害学	30	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし精神障害についての基本を講義する。
臨床心理学	30	1年	公認心理師および臨床心理士、精神保健福祉士・社会福祉士として、保健・医療・教育・福祉領域での実務経験を有する教員が、その経験を生かしながら、心理学の基本的な理論について講義を行う。
リハビリテーション論	30	1年	理学療法士として臨床経験のある教員がその経験を生かしリハビリテーション医学の基本を講義する。
作業療法概論	15	1年	各領域での臨床経験がある作業療法士が、その知識と経験を生かして講義を行う。
基礎作業学	30	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義・演習する。
基礎作業学演習Ⅰ	30	1年	臨床で作業活動を用いて治療を実践していた作業療法士が講義を行う。
作業療法管理学Ⅰ	15	1年	医療機関で管理職経験のある作業療法士がその経験を生かして講義を行う。
作業療法評価学総論	15	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし作業療法評価の基本を講義する。
身体障害作業療法評価学	30	1年	作業療法士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし作業療法評価の基本を講義する。
身体障害作業療法評価演習Ⅰ	30	1年	作業療法士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし作業療法評価の基本を講義する。
精神障害作業療法評価学	30	1年	精神科で作業療法を実践していた教員がその経験を生かして精神科における作業療法評価について講義する。
老年期障害作業療法評価学	15	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が、高齢者と関わるうえでの必要な知識や評価の視点を講義する。
地域作業療法Ⅰ	30	1年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
臨床実習Ⅰ	78	1年	作業療法士として5年以上の臨床経験があるセラピストが指導する。
身体運動機能学実習	45	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
運動学演習	30	2年	作業療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし臨床で用いられる身体運動時の観察方法を基本に講義する。
神経障害学Ⅱ	30	2年	作業療法士・理学療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
老年期障害学	15	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、高齢者と関わるうえでの必要な知識や評価の視点を講義する。
運動器障害学Ⅰ	30	2年	理学療法士・作業療法士として運動器障害の臨床経験がある教員が、その経験を生かし疾患の基礎を講義する。
リスク管理と予防	30	2年	看護師として臨床経験のある教員がその経験を生かして講義・演習を行う。
多職種連携	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員がその経験を生かし多職種連携の必要性を理解できるようファンリテートする

科目名	時間数	学年	実務経験
リハビリテーション医療機器関連	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かしリハビリテーション機器の概要を講義する。
基礎作業学演習Ⅱ	30	2年	臨床で作業活動を用いて治療を実践していた作業療法士が講義を行う。
作業療法総合演習Ⅰ	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かして臨床実習前に必要な知識・技能の定着を図るための講義をする。
作業療法研究法Ⅰ	15	2年	作業療法士として研究経験のある教員が、その経験を生かし研究法の基本を講義する。
身体障害作業療法評価演習Ⅱ	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
発達障害作業療法評価学	30	2年	作業療法士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし作業療法評価の基本を講義する。
精神障害作業療法評価実習	45	2年	精神科作業療法の臨床経験がある作業療法士が、その経験を生かし講義・演習を実施する。
身体障害作業療法治療学	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
身体障害作業療法治療演習	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
精神障害作業療法治療学	30	2年	作業療法士として臨床経験がある教員がその経験を生かし臨床で用いられる治療技術について講義・演習する
精神障害作業療法治療演習	30	2年	精神科作業療法に臨床経験のある作業療法士が、その経験を生かし講義・演習を実施する。
老年期障害作業療法治療学	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員がその経験を生かし認知症の方との関わりについて講義する。
老年期障害作業療法治療演習	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かして高齢者に多い疾患別の治療方法を講義する。
高次脳機能障害作業療法治療学	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし作業療法評価の基本を講義する。
発達障害作業療法治療学	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし発達障害領域の作業療法の基本を講義する。
発達障害作業療法治療演習	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし発達障害領域の作業療法の基本を講義する。
日常生活活動学	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし日常生活活動の概要等について講義する。
日常生活活動演習	30	2年	作業療法士として長年病院勤務に携わり対象者のADL治療をしてきた教員が訓練プログラムなどについて講義する。
装具関連リハビリテーション演習	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員がその経験を生かして講義・演習を行う。
内部障害作業療法学	15	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
生活環境学	30	2年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かして臨床で使える住環境整備について講義する。
臨床実習Ⅱ	45	2年	作業療法士として5年以上の臨床経験があるセラピストが指導する。
臨床実習Ⅲ	225	2年	作業療法士として5年以上の臨床経験があり、なおかつ臨床実習指導者講習会を終了したセラピストが指導する。
ソーシャルスキルⅣ	15	3年	作業療法士として就職活動の経験がある教員がその経験を活かし講義する。
内部障害学Ⅱ	15	3年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし内部障害学の基本を講義する。
発達障害学Ⅱ	15	3年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし発達障害学の基本を講義する。
運動器障害学Ⅱ	15	3年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし運動器障害学の基本を講義する。
作業療法総合演習Ⅱ	30	3年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その経験を生かして臨床実習前に必要な知識・技能の定着を図るための講義をする。
作業療法特論Ⅰ	60	3年	作業療法士として臨床経験のある教員が国家試験の出題傾向を分析しそれを基に講義する。
作業療法特論Ⅱ	30	3年	作業療法士として臨床経験のある教員が国家試験に向けた学習方法を説明・演習する。
作業療法特論演習	60	3年	作業療法士として臨床経験のある教員が国家試験の出題傾向を分析しそれを基に講義する。
作業療法研究法Ⅱ	15	3年	理学療法士として研究経験のある教員が、その経験を生かし研究法の基本を講義する。
作業療法管理学Ⅱ	15	3年	地域の事業所で管理職経験のある作業療法士がその経験を生かして講義を行う。
職業関連作業療法学	15	3年	地域の事業所で管理職経験のある作業療法士がその経験を生かして講義を行う。
リハビリテーション治療各論	15	3年	作業療法士として臨床経験のある教員が、作業療法士の臨床の実際について講義する。
地域作業療法Ⅱ	15	3年	作業療法士として臨床経験のある教員が、その臨床経験を生かして講義をする。

科目名	時間数	学年	実務経験
臨床実習Ⅳ	360	3年	作業療法士として5年以上の臨床経験があり、なおかつ臨床実習指導者講習会を終了したセラピストが指導する。
臨床実習Ⅴ	360	3年	作業療法士として5年以上の臨床経験があり、なおかつ臨床実習指導者講習会を終了したセラピストが指導する。
合計	2913		

札幌医学技術福祉歯科専門学校

言語聴覚士科(ST)科 実務経験を有する教員の一覧

科目名	時間数	学年	実務経験
情報処理 I	30	1年	情報処理技術者として経験のある教員が、パソコンの操作やインターネット検索、Wordを使用した文書作成の実習を行う。
耳鼻咽喉科学	15	1年	大学病院においての耳鼻科にて多くの対象者の治療を行っている。その経験を生かし、言語聴覚士に関わる耳鼻咽喉科学の基本を講義する。
口腔外科学	15	1年	口腔外科の歯科医として長年多くの患者を診てきている。その経験を生かし言語聴覚療法に必要な口腔外科の基本を講義する。
呼吸・発声・発語系の構造・機能・病態	30	1年	言語聴覚士として臨床経験のある教員がその経験を生かし、臨床に必要な呼吸発声発語器官の構造・機能・病態について講義する。
聴覚系の構造・機能・病態	15	1年	言語聴覚士として臨床経験のある教員がその経験を生かし、臨床に必要な聴覚器官のしくみ、機能について講義をする。
神経系の構造・機能・病態	15	1年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
特別支援児心理学	30	1年	臨床心理士、公認心理師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし、特別支援の概要と子どもたちの実際について講義する。
言語発達学	30	1年	言語聴覚士として臨床経験のある教員がその経験を生かし、言語発達の過程等について講義する。
リハビリテーション概論	30	1年	言語聴覚士として臨床経験がある教員が、その経験を生かしリハビリテーションの基本を講義する。
言語聴覚障害概論	30	1年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験を生かして講義する。
言語聴覚障害概論演習	30	1年	臨床経験のある言語聴覚士や歯科衛生士、理学療法士、作業療法士が、経験を生かして講義を行う。
失語症 I	30	1年	言語聴覚士として臨床経験を積んだ教員が失語症について講義する。
失語症演習 I	30	1年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし標準失語症検査について講義する。
高次脳機能障害 I	30	1年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし高次脳機能障害の基本を講義する。
知的障害 II	30	1年	作業療法士、言語聴覚士としての臨床経験のある教員が、その経験を活かし心理検査の演習を行う。
広汎性発達障害	30	1年	小児分野に多くかわり、作業療法士として相談業務に関わっている。その経験を生かし言語聴覚療法に関する広汎性発達障害の基本を講義する。
器質性構音障害	30	1年	言語聴覚士として、小児の相談業務に携わっている。現場での経験から得た知識を生かし合わせながら、言語聴覚士にかかわる器質性構音障害の基本を講義する。
機能的構音障害	30	1年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし機能的構音障害の講義をする。
吃音	30	1年	言語聴覚士免許、小学校教員免許、特別支援学校免許を持ち、子ども発達支援センター、弱視学級、ことばの教室、聾学校、院内学級にて20年余り勤務した経験を生かし吃音の基本を講義する。
聴覚障害 I	30	1年	言語聴覚士として臨床経験のある教員がその経験を生かし、臨床に必要な聴覚器官のしくみ、機能について講義する。
聴力検査	30	1年	言語聴覚士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし聴力検査の基本を講義する。
情報処理 II	30	2年	情報処理技術者として経験のある教員が、その経験を活かし文書作成の講義をおこなう。また、教員はPTAの全国研究大会での提言者としてプレゼンテーションの経験があり、その経験を活かしプレゼンテーション作成の指導をおこなう。
小児科学	15	2年	小児科医師としての経験を生かし言語聴覚療法に必要な小児科学の基本を講義する。
リハビリテーション医学	15	2年	理学療法士(医学博士)として臨床経験のある教員がその経験を生かしリハビリテーション医学の基本を講義する。
臨床神経学	30	2年	中枢神経系に関して、MRIや脳波、脳磁図を用いた研究を行った経験があり、神経疾患の病態や症状などを適切に説明できると考えている。
形成外科学	15	2年	歯科医師として現場で経験のある教員が、その経験を生かし、言語聴覚士の仕事に関連付けながら講義する。
臨床心理学	15	2年	公認心理師および臨床心理士、精神保健福祉士・社会福祉士として、保健・医療・教育・福祉領域での実務経験を有する教員が、その経験を生かしながら、臨床心理学の基本的な理論について講義を行う。
社会保障制度	30	2年	社会福祉士として社会福祉施設に勤務経験のある教員が、その経験を生かし、人々の生活課題と社会保障制度がどのように関連しているかについて講義する。
関係法規	15	2年	行政書士・社会福祉士として社会福祉施設に勤務経験のある教員が、その経験を生かし、医療や福祉に関連する法律についての内容および正確な条文の読み方について解説する。
言語聴覚障害診断学	30	2年	言語聴覚士として臨床経験のある教員がその経験を生かし多職種連携の必要性を理解できるようファンリテートする
言語聴覚障害診断学演習	30	2年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし検査や実習時に必要な脳画像の基本について講義する。
失語症 II	30	2年	言語聴覚士として臨床経験を積んだ教員が失語症について講義する。

科目名	時間数	学年	実務経験
失語症演習Ⅱ	30	2年	臨床経験のある教員が、その経験を生かして講義する。
高次脳機能障害Ⅱ	30	2年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
脳性麻痺	30	2年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が、脳性麻痺について講義します。
言語発達遅滞	30	2年	資格：言語聴覚士免許、小学校教員免許、特別支援学校免許 子ども発達支援センター、弱視学級、ことばの教室、聾学校、院内学級にて20年余り勤務。
学習障害	30	2年	日本LD学会特別支援教育士SVおよび特別支援教育専修免許を有し、北海道学習障害児者親の会顧問、旭川学習者親の会がぶりずむ理事を務めている。現在は、ギフトドの子どもたちを対象にしたフリースクールを運営しています。
音声障害	30	2年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし音声障害の評価から訓練について講義する。
運動性構音障害	60	2年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし言語聴覚療法の基本を講義する。
摂食嚥下障害	60	2年	言語聴覚士として臨床経験を積んだ教員が、摂食嚥下障害について講義する。
聴覚障害Ⅱ	30	2年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし講義を行う。
聴覚検査法	30	2年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし聴覚検査法について講義する。
臨床実習Ⅰ	160	2年	言語聴覚士として5年以上の臨床経験のあるセラピストが指導する。
総合検査法Ⅰ	30	2年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし検査手技を講義する。
実習指導Ⅰ	30	2年	言語聴覚士、歯科衛生士として臨床経験ある教員が、その経験を活かし臨床実習に必要な基本を講義する。
呼吸・発声・発語系の構造・機能・病態演習	30	3年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が臨床、国家試験に必要な呼吸発声発語器の構造機能、運動性構音障害について講義する。
聴覚系の構造・機能・病態演習	30	3年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし聴覚障害Ⅲについて講義する。
神経系の構造・機能・病態演習	30	3年	言語聴覚士として経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
学習心理学	30	3年	日本LD学会特別支援教育士SVおよび特別支援教育専修免許を有し、北海道大学教育学研究科特殊教育臨床心理学ゼミで発達障害ある子どもの学習のメカニズムについて研究。人はどのように学びを積み重ねていくのについて考えたい。
言語学演習	30	3年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし基本を講義する。
音声学演習	30	3年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を活かし音声学について講義する。
音響学	30	3年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を活かし音声学について講義する。
聴覚心理学	30	3年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし聴覚心理学の基本を講義する。
聴覚心理学演習	30	3年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし聴覚心理学の基本を講義する。
言語発達学演習	30	3年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし、臨床、国家試験に必要な知識について講義する。
発声発語・嚥下障害	30	3年	言語聴覚士として臨床経験のある教員がその経験を生かし、嚥下障害、吃音の評価、訓練について講義します。
聴覚障害Ⅲ	30	3年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし聴覚障害Ⅲについて講義する。
補聴器・人工内耳	30	3年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験を生かし補聴器・人工内耳の基本を講義する。
臨床実習Ⅱ	320	3年	臨床経験満5年以上の現場教員と、実務経験5年以上の教員が臨床現場で必要とされる知識と技能について伝える。
言語聴覚障害特論Ⅰ	30	3年	言語聴覚士として経験のある教員が、その経験を生かし講義する。
言語聴覚障害特論Ⅱ	30	3年	言語聴覚士として臨床経験ある教員が、その経験を生かし言語聴覚障害特論に関する基本を講義する。
言語聴覚障害特論Ⅳ	30	3年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が講義を担当する。
総合検査法Ⅱ	30	3年	資格：言語聴覚士免許、小学校教員免許、特別支援学校免許 子ども発達支援センター、弱視学級、ことばの教室、聾学校、院内学級にて20年余り勤務。
実習指導Ⅱ	30	3年	言語聴覚士として臨床経験のある教員が、その経験をいかし臨床実習に向けた基本事項を伝えます。
言語聴覚障害特論Ⅲ	30	3年	臨床経験のある教員が、その経験を生かし特論Ⅲについての内容について講義する。
合計	2295		

札幌医学技術福祉歯科専門学校

介護福祉士科(SCW)科 実務経験を有する教員の一覧

科目名	時間数	学年	実務経験
人間の理解Ⅰ	30	1年	社会福祉士として5年以上実務経験のある教員がその経験を活かし、人間の理解について講義する。
社会の理解Ⅰ	30	1年	社会福祉士として社会福祉施設に勤務経験のある教員が、その経験を生かし、人々の生活課題と社会保障制度がどのように関連しているかについて講義する。
生活の理解Ⅰ	30	1年	介護福祉士として経験のある教員が、その経験を生かし、訪問介護、施設介護での調理支援について講義する。
生活の理解Ⅱ	30	1年	一級建築士として、高齢者・障害者の住まいの設計監理に携わっている。介護福祉士として訪問介護の経験がある。その両方の分野の経験から環境整備の重要性を講義する。
情報処理	15	1年	情報処理技術者として経験のある教員が、パソコンの操作やWord、Excel、PowerPointを使用し、文書作成、表計算、プレゼンテーションの仕方の実習をおこなう。
介護の基本Ⅰ	120	1年	介護福祉士として実践現場での経験のある教員が、現場の実情を織り交ぜケアに大切な倫理観・職業観を示しながら教示する。
コミュニケーション技術Ⅰ	30	1年	介護福祉士・認定心理士として介護兼生活相談業務経験のある教員が、その経験を生かし介護におけるコミュニケーション技術の基本を講義する。
コミュニケーション技術Ⅱ	30	1年	介護福祉士、社会福祉士として福祉施設で勤務した経験のある教員が、その経験を生かし介護におけるコミュニケーションを中心に講義する。
生活支援技術Ⅰ	90	1年	介護福祉士また歯科衛生士として実践現場にて経験のある教員が、根拠にもとづく技術を教示する。
生活支援技術Ⅲ-2	30	1年	理学療法士として病院にて勤務。その経験を活かし講義する。
生活支援技術Ⅲ-3	30	1年	介護福祉士として福祉現場の経験ある教員が、その経験を活かし生活支援技術の基本視点を講義する。
生活支援技術Ⅲ-4	30	1年	介護福祉士として、介護福祉施設で勤務した経験を生かし、認知症ケアの実践に即した講義を行う。
介護過程Ⅰ	30	1年	介護福祉士として実務経験のある教員が、介護過程の展開方法について講義する。
介護過程Ⅱ	30	1年	介護福祉士として実務経験のある教員が、介護過程の展開方法について講義する。
介護過程Ⅲ	30	1年	介護福祉士として介護保険施設での勤務経験のある教員が、介護過程の展開方法について講義する。
介護総合演習Ⅰ	90	1年	介護福祉士として社会福祉施設での勤務経験を生かし、また、実習施設における指導者として学生指導の経験を持つ教員が、実践現場の実情を踏まえ指導する。
介護実習Ⅰ	120	1年	介護福祉士として社会福祉施設での勤務経験を生かし、また、実習施設における指導者として学生指導の経験を持つ教員が、実践現場の実情を踏まえ指導する。
介護実習Ⅱ-1	96	1年	介護福祉士として社会福祉施設での勤務経験を生かし、また、実習施設における指導者として学生指導の経験を持つ教員が、実践現場の実情を踏まえ指導する。
発達と老化の理解Ⅰ	30	1年	看護師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし介護に必要な人間の身体的・心理的な側面の基本を講義する。
認知症の理解Ⅰ	30	1年	認知症専門の作業療法士として、認知症に関する各論やリハビリテーションおよびケアの考え方や、実践に即した内容を講義する。
障害の理解Ⅰ	30	1年	介護福祉士として福祉現場の経験ある教員が、その経験を活かし障害の理解の基本視点を講義する。
こころとからだのしくみⅡ	60	1年	看護師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし介護に必要な人間の身体的・心理的な側面の基本を講義する。
人間の理解Ⅱ	30	2年	社会福祉士として介護福祉施設での勤務経験を生かし授業を担当する。
社会の理解Ⅱ	30	2年	介護福祉士として社会福祉施設での勤務経験を生かし、授業を担当する。
チームマネジメント	30	2年	介護福祉士として実践現場にて経験のある教員が、現場の実態を交えて教示する。
生活の理解Ⅲ	30	2年	介護福祉士、栄養士として社会福祉協議会での実務と社会福祉士として生活支援に要する制度や権利擁護について解説する。
介護の基本Ⅱ	60	2年	介護福祉士として社会福祉施設での勤務経験を生かし、現場の実情を織り交ぜケアに大切な倫理観・職業観を示しながら指導する。
生活支援技術Ⅱ	30	2年	介護福祉士として社会福祉施設にて勤務経験のある教員が、根拠にもとづく技術を指導する。
生活支援技術Ⅲ-1	30	2年	言語聴覚士として臨床経験がある教員が、その経験を生かし言語聴覚障害について講義をする。
生活支援技術Ⅲ-5	30	2年	看護師として臨床経験のある講師が、その経験を生かし講義する。
生活支援技術Ⅲ-6	30	2年	看護師として臨床経験のある講師が、その経験を生かし講義する。
介護過程Ⅳ	30	2年	介護福祉士として社会福祉施設での勤務経験のある教員が、介護過程の展開方法について講義する。
介護過程Ⅴ	30	2年	介護福祉士として介護福祉施設での勤務経験を生かし、介護福祉士だからこそ得られることのできる仕事の魅力等について、実務経験をもとに講義を行う。
介護総合演習Ⅱ	60	2年	介護福祉士として社会福祉施設での勤務経験を生かし、また、実習施設における指導者として学生指導の経験を持つ教員が、実践現場の実情を踏まえ指導する。

科目名	時間数	学年	実務経験
介護実習Ⅱ-2	240	2年	介護福祉士として社会福祉施設での勤務経験を生かし、また、実習施設における指導者として学生指導の経験を持つ教員が、介護現場の実情を踏まえ指導する。
発達と老化の理解Ⅱ	30	2年	訪問看護師・居宅介護支援員として経験と障がい者支援施設での障がい者支援のある教員が、その経験を生かし、介護に必要な基本的な高齢者に多い疾患や症状について講義する。
認知症の理解Ⅱ	30	2年	看護師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし認知症の人へのケアを中心に講義する。
障害の理解Ⅱ	30	2年	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士として病院に勤務、その経験を活かし講義する。
こころからだのしくみⅢ	30	2年	看護師として臨床経験ある教員が、その経験を生かし「こころからだのしくみⅢ」を講義する。
医療的ケア(講義)	70	2年	看護師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし医療的ケアに必要な基本的知識を講義する。
医療的ケア(演習)	30	2年	看護師として臨床経験のある教員が、その経験を生かし医療的ケアに必要な基本的知識・技術を演習を通して教授する。
介護福祉総論	90	2年	社会福祉施設や病院の臨床現場で培った経験を生かし、その領域で求められる知識および周辺知識について講義する。
合計	2011		